

認定長期優良住宅の維持保全状況等に関する報告書（平成〇〇年度調査）

平成〇〇年〇月〇日

(あて先) 川崎市長

報告者 氏名 川崎 太郎
(認定計画実施者)

川崎

住所 川崎市〇〇区〇〇町〇〇番地

電話番号 044-〇〇〇-〇〇〇〇

日中ご連絡のつく電話番号をご記入ください。

長期優良住宅の普及の促進に関する法律（平成20年法律第87号）第12条の規定に基づき、報告の求めのあった認定長期優良住宅の維持保全状況等については、次のとおりです。

1. 報告対象の長期優良住宅建築等計画（住まいの概要等を記入してください。）

(1) 認定年月日・番号 : 20〇〇年〇月〇日 第H22川崎長認〇〇〇〇〇〇〇号

(2) 認定に係る住宅の位置 : 川崎市〇〇区〇〇町〇〇番地

変更認定がある場合は、元の認定年月日・番号と変更後の認定年月日・番号を併記してください。

(3) 認定計画実施者 : 川崎 太郎

(4) 定期点検等実施者 名前前 : 川崎〇〇建設(株)〇〇支店 (担当〇〇〇〇)

(業者等に委託して

いる場合は業者名)

住所 : 川崎市〇〇区〇〇町〇〇番地

電話番号 : 044-〇〇〇-〇〇〇〇

認定計画実施者（所有者等）が変更になった場合は、地位承継の手続きが必要です。現在の所有者様が申請者となります。詳細は担当窓口までご相談ください。

(注意)

1. 認定計画実施者が複数名の場合、代表者1名での報告も可能です。
2. 報告者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
3. 認定時と敷地の範囲に変更がなく、地番のみが変更となった場合、新旧地番を併記してください。
4. 婚姻等で認定時から姓が変更になった場合、新旧の姓を併記してください。
5. 報告内容等について、適切な維持保全がなされているか判断できない場合は、川崎市から改めて、その状況等について、報告を求めることがあります。

注意！適切な維持保全がなされているか判断できない場合は、川崎市から改めて、その状況について報告を求めることがあります。

2. 報告内容

2-1 住宅の建築及び維持保全の状況に関する記録等の保存状況

(住まいに係る書類等の保存状況について該当するものを「○」で囲ってください。)

- (1) 認定申請書 : 有り ・ 無し
- (2) 認定通知書 : 有り ・ 無し
- (3) 認定申請書添付の設計図書 : 有り ・ 無し
- (4) 認定申請書添付の維持保全計画 : 有り ・ 無し
- (5) 実施した維持保全（点検・補修等）の記録 : 有り ・ 無し ・ 該当なし
- (維持保全を委託した場合、委託契約書及び実施報告書等)
- (6) 変更認定申請書・通知書 : 有り ・ 無し ・ 該当なし
- (7) 地位の承継承認申請書・通知書 : 有り ・ 無し ・ 該当なし

認定通知書等を紛失したときは、認定等の証明を市長に申請し、写しの交付を受けることができます。まずは、担当窓口までご相談ください。

点検予定日に達していない場合は「該当なし」を「○」で囲ってください。2-2 (1) も同じです。

2-2 住宅の維持保全状況

(住まいの維持保全状況について該当するものを「○」で囲み、(1)、(2)、(4)で「いいえ」を選んだ場合は理由を記入してください。なお下記の根拠として、維持保全（点検・補修等）の記録の写しを提出してください。)

必ず維持保全（点検）の記録の写しを添付して提出してください。

(1) 維持保全計画において定めた時期に、計画どおり点検等を行っていますか。

- ① はい
- ② いいえ : (理由 _____)
- ③ 該当なし ※点検予定日に達していない

① 地震時及び台風時に臨時点検を行っていますか。 ※

- ① はい
- ② いいえ : (理由 _____)
- ③ 該当なし ※維持保全計画において定めた点検が必要な地震等が無かった場合

すべての地震・台風時に点検が必要なわけではありません。維持保全計画において定めた規模等に従ってください。

(2) 今までの定期点検・臨時点検で、補修等が必要な劣化事象はありましたか。

- ① はい
- ② いいえ : 回答は以上です。

(3) ((3)で①を選択した場合) 補修等が必要な劣化事象について、補修等を行いましたか。

- ① はい : 必ず維持保全（補修等）の記録の写しを添付して提出してください。
- ② いいえ : (理由 _____)